▲ 朝空にフアンフアーレも高らかに

▲ モダンな水泳競技場正門

〝水の祭典〟スナップ

——第15回国体「夏季大会」——

9月24日から27日までの4日間　県営熊本城プール、熊本高校プール及び荒瀬ダムでひらかれた第15回国体夏季大会は成功裡に終了した。（この頁は開会式のスナツプ）

開会を宣言する
寺本知事

▲ お言葉を賜わる高松宮さま

▲ 好評の女性のアナウンスは熊本国体がはじめて

◀ 選手団の入場を終り空には四色の風船が……

定評のあるところ。日頃賦課に、徴税に席のあたたまらない税メンも、この日ばかりは……と大張切り。

恋唄を乗せて走る高原列車のつくところ「みやじ」の町民はりんどうの花によせて国体選手一行を待つております。

（一の宮町実行委員会広報健民部）

阿蘇町

町内会では飾馬も

競技運営の上には十分気を配りました。会場の改造と改装に三百万円を投じて、仮設スタンドから、便所、電灯設備までしましたし、報道陣のためには、仮設の電話ボックスもできあがつています。

開始式は、三百名の鼓笛隊に、七十数名のブラスバンドも出場して花を添えることになつていますし、更にまた、中学自治会の申し合せで、各県の選手団へ月桂樹と柏に野花を添えて呈上しようと張り切つています。

歓迎で異色と思われるのは、二十三日開会式終了後の帰りを待ちうけて、駅頭ではブラスバンドと鼓笛隊で歓迎し、宿泊の町内では町内会で十一頭の飾馬を走らせて大いに旅情を慰めようと準備中です。

前夜祭では、阿蘇でなくては見られぬシネスコ記録映画「阿蘇」と「阿蘇の虎舞」をご披露に及ぼうというものです。その他特殊のことはありません。ただ、まごころからの歓迎をモットーとしていますが、果してどうか気がかりです。

（阿蘇町実行委員会）

御船町

「純朴」と「熱意」で準備完了

県下の会場中わが御船町は〝田舎町〟という環境から準備にむづかしい点がありつた。しかし、やるとなれば、体育館建設当時から町民の念願であつたのだからとんとん拍子だ。選手の宿泊や歓迎準備など、町民の純朴さがものをいつて、受入れ態勢は九月中に整つた。特にわが会場は一般女子バスケットボールとあつて婦人層に人気があり、一般サービスや料理の練習など、回を重ねて事務局は先づ安泰というところ。はじめは女子選手のお客さんとあつて事務局は神経を使つたものだが、すつかり落ちついた。

旗リレーの沿道に植えられたコスモスや鶏頭の花も咲きそろつた。町内の舗装も近々出来上る。町の紹介パンフレットもできた。

目下山を越え谷を渡り、郡内町村を特設広報車で宣伝中である。

要するにわが町の自慢は〝町民挙げてのありつたけの純朴さ〟だ。

（御船町実行委員会）

長陽村

射場は日本一と……折紙付

射場は阿蘇湯の谷の産交射場を使用するが、これは三百万円の経費で特にこの国体のために新設されたもの。

周囲の環境といい、広々たる眺望といい、日本一の射場と折紙がつけられている。

また長陽村国体事務局は、会場施設その他選手歓迎のアーチ、塔の設置、宿舎配当など万全の計画のもとに準備は全く完了した。

選手歓迎では、婦人会が駅で湯茶の接待、会場の接待を受持ち、二十三日は湯の谷野外音楽堂で前夜祭を開き、県の無形文化財に指定されている「長野岩戸神楽」三十三座のうちの一部を披露し、或は産交ブラスバンドの演奏などで選手役員の皆さんを歓迎する計画である。

（長陽村実行委員会）

北部村

〝肥溜（こえだめ）も移転完了〟

熊本市から約五キロ、山鹿へ向うバスより雄大な眺めの中に、秋の稔りゆたかな美しい私達の北部村がある。道路はきれいに清掃され、ここの名物であつた畠の肥溜は一つも見当らない。一ヵ月程前誰が云い出したかは知らないが、「今度の国体で天皇・皇后両陛下をお迎えするが、この臭い、非衛生この上もない肥溜をなんとかしなくては……」と中央保健所、部落民、土木事務所三者一体となつてこれを埋立て、新たに国道からは入つた処に立派な肥溜をつくつた。

又村民あげて国道と県道の藪の伐採と清掃を行い、しかもこれが村民の自発的行為であり部落内の道路と併せて今日の美しい道路となつたものである。

北部村に入つたのと同時に「ここが北部村だな」と一目で分る程です。

又表面だけの美しさだけではいけないと村全体の家庭の一斉消毒と清掃を行い〝衛生モデル村〟としてはずかしくないよう努力し、村をあげて準備万端整えて、晴れの国体を待つている。

（北部村実行委員会）

このほかの各競技開催地でも、色々と努力を続けておられますが、編集日までに原稿が到着したものだけを掲載しましたのでご了承下さい。

（係）